空き家活用、無料相談

クラッソーネ 専門窓口を開設

解体事業者や外構事業者の無料あっせんサイトを運営するクラッソーネ（本社名古屋市熱田区神宮、川口哲平社長、電話052・624・3755）はこのほど、空き家の活用や処分に関する無料相談窓口「空家活用の匠」を開設した。

川口哲平社長

空き家解体に関する相談が多数寄せられていることを受け、解体工事だけでなく総合的な相談に対応する窓口の開設を決めた。

空き家の所有者が直面する維持管理や解体資金、税金などの問題について、専門家に電話やメールで相談できる。2級建築士、ファイナンシャルプランナー（FP）、解体工事施工技術講習修了者、宅地建物取引主任者らで構成する専門チームが相談を受け付けに関する補助金や助成金を紹介するほか、空き家関連の最新情報を公開する。

窓口の開設時間は、電話は平日午前9時～正午、午後1時30分～午後5時30分。メールは24時間。

「空家活用の匠」のホームページ

ある。実際に空き家の売却や解体、リフォームなどを行う場合は、専門事業者の紹介を受けることができる。

「空家活用の匠」のホームページ上では、各自治体が設けている空き家の除去や改修、取得

同社は2011年4月設立。一般顧客と解体工事業者や外構工事事業者のマッチングサイト「解体工事の匠」、「エクステリアの匠」を運営している。

浪人生減少 難関受験に

本格的な大学入試シーズンと浪人生が異なる学習指導要領で、2015年1月17、18日センター試験で数学、理科の問題など、15年度入試は「変化の年」ておきたいポイントを河合塾教和さんに聞いた。

「冷静に情報を分析し、自分の希望を見極め、納得の進路選択をしてほしい」と富沢さん。

センター試験の数学と理科では、経過措置として新旧の各指導要領に対応した2通りの問題が用意され

度大学入試の傾向